「(仮称)ヴェロマルチ山口」設立趣意書

謹啓　皆様におかれましては未曾有の災禍にありましてもますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素から自転車のある生活に関心を寄せて頂き当事者の一員として御礼申し上げます。
その移動や趣味の道具としての「自転車」に乗って使うことを表す「サイクリング」のような日本語をご存じではないでしょうか？因みに国際自転車競技連盟／ＵＣＩのルールブックには「サイクリングとは、レースを含むスポーツサイクリング全般」とあります。
工業製品としての「自転車」はもちろん、「自転車走行環境」「自転車利活用」「自転車乗車心得」など、ハード、インフラ、ソフト、ハートの４要素から成る自転車多様性や、歩道走行問題の再燃に際し「自転車には、歩行者的利用と自動車的利用の二面性がある」と警察見解が出されたように、以下のような多様性の中の二面性も共通認識化する必要があると思います。

◆多様性の中の二面性　◎ハード　：　自転車　//　軽　車　両 ⇔ スポーツ機材
◎インフラ　：　環　境　//　一　般　道 ⇔ 専　用　道
◎ソフト　：　使い方　//　[日常利用] ⇔ [スポーツ利用]
◎ハート　：　人　//　自転車市民権 ⇔ 自転車多様性

それは、自動車より小回りが効き、歩くより広範に使える「自転車」の利活用を考える際、二面性の境目に相当するサイクリングの法的根拠が曖昧という、第一次サイクリングブームから潜在する『日本の実情』が浮上し、議論が先に進まない場面が多々あるからです。

つきましては多様性の中の二面性を踏まえて、「自転車のある生活」に多角的に取り組む地域貢献型の団体を新たに立ち上げたいと考えており、また先の見えない状況で互いに支えあう必要も痛感しており、是非とも当団体の設立趣旨に、ご理解、ご賛同を頂き、後援や情報提供等、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

令和四年二月吉日
(仮称)ヴェロマルチ山口発起人一同

団体設立概要

一、団体概要／目的、組織、事業　（連絡先／発起人）
二、組織図／理事会、事務局、分科会、外局　（補足）
三、工程表／設立、申請、Ａプラン、Ｂプラン⇉修正追記
四、資料／山口きらめき財団前回申請書抜粋
／廃校再生サミット山口説明会資料抜粋

案

＜(仮称)ヴェロマルチ山口＞

●目的／子供の玩具として始まり、最も身近な市民の足であり、第一回近代オリンピックから正式種目、そして世界一周の相棒として、多様に楽しめる「自転車」。しかし『日本の実情』は昭和から平成・令和と時代が進んだ今も変わっておらず、走行環境の法的根拠も曖昧なまま。その自転車走行環境を、ハード・インフラ・ソフト・ハートの４要素で考える、ユーザー＋ショップ＋地域が三位一体となった、“地域貢献型マルチサイクリングクラブ”として当会は、「情報発信」「人材交流」「提案型ソフト」を三本柱に、日常利用とスポーツ利用の架け橋となり、一般道の自由使用の範囲の拡大に繋がる自転車市民権の獲得と自転車多様性の共通認識化を、「先行山口」として目指すものです。

●組織・活動／目的の達成のため、下記の組織を有し、必要に応じて、イベント情報誌の発行や、提案型イベント等を行います。

◎理事会／代表理事１名、副代表１～２名、事務局４～１０名、分科会５～１０名、顧問３～５名
⇒情報誌編集に合わせて理事会を行う。

◎事務局／広報、企画渉外編集（西部、県央、東部）、総務、会計
⇒主に三本柱の『情報発信』を担当。

◎分科会／交流１（ソフト＆ハード）、交流２（ハード＆インフラ）、事業（セルフ・架け橋・混淆・ライセンス・他）
⇒三本柱の『人材交流』と『提案型ソフト』を担当。

〇外局（提案型ソフトで、法的根拠が曖昧なものや一般道の目的外使用に対応する外部組織）
／街道、山道、町の道、ザッピング、チョイス、架け橋、他
⇒『提案型ソフト』は玉石混淆の見極めが必要で、外局では、グループサイクリングや山道走行、ツーリングコンペティション等を扱う。また地域と広域の守備範囲を考えながら外部顧問も置き、必要に応じてサイクリング大会や競技会にも対応する。

※自由使用と目的外使用と地域貢献：一般道の自由使用の範囲で自転車のある生活を考える「Think Cycling」。クローズドサーキットやオープンロードを問わず自転車の可能性を考える「Think VTT」。そして自転車速度で移動しながら地域の文化や自然を見つめ直す「Velo Multi Maintenance」。理想は自転車スーパー先達が所属する「地域貢献型マルチサイクリングクラブ」が、それらをバランス良く担うことだが、『日本の実情』ではそれが難しい。そこで改めて自転車利活用の立場を超えた『自転車目線ネットワーク再構築』を訴えたい。

※ここで言う「Cycling」は、UCI の定義「サイクリングとはレースを含むスポーツサイクリング全般」と、日本人のイメージ「のんびりサイクリング」を比較し、日本の実情を俯瞰したもの。

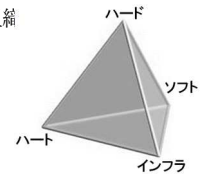
※ここで言う「VTT」は、フランス語の MTB にあたる全地形型の自転車「Vélo tout-terrain」を、地球の全てを遊ぶ自転車「Vélo pour tout jouer sur terre」と拡大解釈したもの。

＜問い合わせ・連絡先＞
発起人代表：弘重公朗／〒742-0021　柳井市天神並木通りＣＳヒロシゲ　0820-22-0645
事務局担当：國安博之／〒753-0214　山口市大内御堀 4044-8 博友舎　083-927-7922
分科会担当：石丸英明／〒740-0036　岩国市藤生町 1-30-6 ｺｰｽｸﾘｴｲﾄ山口　090-3170-6658
（URL http://www.bike-joy.com/VMYc.htm E-mail bikejoyq@mbr.nifty.com）

◎発起人（順不同）／弘重＊＊、志賀＊＊、福永＊＊、棟久＊＊、松岡＊＊、内富＊＊、常原＊＊、石丸＊＊、井上＊＊、明日香＊＊、國安＊＊、西尾＊＊、為近＊＊、光永＊＊、三明＊＊、市川＊＊、村中＊＊、永田＊＊

※参考ページ：http://www.bike-joy.com/JKM.htm
https://bikejoy3.web.fc2.com/toretoreGR/JKM_EVMMLY.htm

二、組織



テトラバランスの追求 ⇒ 「軽車両とスポーツギア」／「一般道と専用道」／「日常利用とスポーツ利用」／「市民権と多様性」

＜＜自転車市民権と自転車多様性を考える＞＞

二年跨ぎの提案型ソフト／共有・模索・蓄積

ユーザー＋ショップ＋地域、三位一体型サイクリングクラブの交流で自転車のある生活を追求！

ＬＣＭＣＣ先行山口／(仮称)ヴェロマルチ山口／春需で発信、秋需で交流

フリーペーパー ／ 学習トレジャーハント ／ コマ地図ブルベ

春需で情報発信／収集と分析も　　**秋需で人材交流／発掘と育成も**

ポジショニングマップ案

2022/01/13/09:48→02/19 改

●理事会

◎代表
【 ① 】

◎副代表1
【 ② 】

◎副代表2
【 ③ 】

◎事務局担当理事
※参照：事務局

◎分科会担当理事
※参照：分科会

◎顧問1
【県自転車軽自動車商協同組合⑲】

◎顧問2
【県サイクリング協会⑲】

◎顧問3
【県自転車競技連盟⑲】

◎顧問4
【サイクル県やまぐち Project⑲】

◎顧問5
【自転車活用推進議員連盟⑲】

●事務局

◎広報
【 ④ 】
＊定期ネット発信

◎企画渉外編集
【 ⑤ 】・西部【⑥】【⑦】・県央【⑧】【⑨】・東部【⑩】【⑪】
＊季刊フリーペーパー　＊市町対応／協賛対応／情報収集
・西部／宇部市、山陽小野田市、下関市、長門市、美祢市
・県央／阿武町、萩市、防府市、山口市
・東部／岩国市、周防大島町、和木町、下松市、上関町、田布施町、平生町、周南市、光市、柳井市

◎総務
【 ⑫ 】
＊理事会
＊分科会
＊定例会

◎会計
【 ⑬ 】
＊総会
＊会計監査

●分科会
／担当理事

(守備範囲)
(連携目標)

◎交流1／ソフト＆ハート
【 ⑭ 】【 ⑮ 】
＊県サイクリング協会⇒中四国ブロック⇒JCA
＊県自転車競技連盟⇒JCF⇒UCI
＊高校/大学/ショップ/職場/一般/他
＊レクリエーション協会／オリエンテーリング協会／他
※対ソフト関連行政

◎交流2／ハード＆インフラ
【 ⑯ 】【 ⑰ 】
＊自転車店＋α（隣県含む）
＊サイクルステーション＋道の駅＋観光施設
＊スポーツ店／スポーツ施設／コンビニ・スーパー・GS・他
※対インフラ関連行政

◎事業／セルフ・架け橋・混淆
【 ⑱ 】【①】【②】【③】【⑤】【⑬】
＊コマ地図ブルベ＆学習トレジャー26
＊クラブ二年跨ぎ交流＆ライセンスメンバー
（S級/R級/B級/J級/H級）
＊市民権と標準化と法的根拠⇒BPAJ＋SBAA
＊セミサポート＆ツーリングコンペティション

●外局
地域⇔広域

◎街道
／ロングライドファストラン
やましろサザンセトCFC
＊山口ブルベ
(ディアゴナール／河川争奪ブルベ)
Grupetto
＊さんいん 1300

◎山道
／トレイルメンテナンス
杣道再生計画やましろ
＝＝ やましろ杣道研究会
＊道普請／＊やましろ MTB ツアーズ
とれとれ岩柳
＊やましろ MTB ラリー
＊レイド・オブシディアン

◎町の道
／トレジャーハント26
転遊研
＊150 トーナメント決勝
＊県内予選
B.E.I.
＊150 トーナメント予選
＊ブロック大会

◎ザッピング
／ゲーム旅
TF陸封降海
＊ワンダリングZ山代
ICD
＊防長かるたドライブ

◎チョイス
／スペシャルサイクリング
SKYP
＊新岩国～長門SS
(公募企画／RSCS・GT)
BPAJ＋SBAA
＊一期一会の日本一周

◎架け橋・他
／クローズド＆オープン
Orange Trophy
＊オレンジトロフィー巡回開催
M.D.O.
＊24耐東西隔年開催
＊サイクリング・フォア・オール

●外部顧問

【【 ⑳ 】】　【【 ⑳ 】】　【【 ⑳ 】】　【【 ⑳ 】】　【【 ⑳ 】】　【【 ⑳ 】】
【【 ⑳ 】】　【【 ⑳ 】】

＜＜自転車目線ネットワークの再構築＞＞

一次ブームからの忘れ物／リゾート法とバカンス法／リバーススタッフ＆オウンリスク／LCMCC ⇒ ヴェロマルチメンテナンス

・補足：出発地と目的地と先行山口・

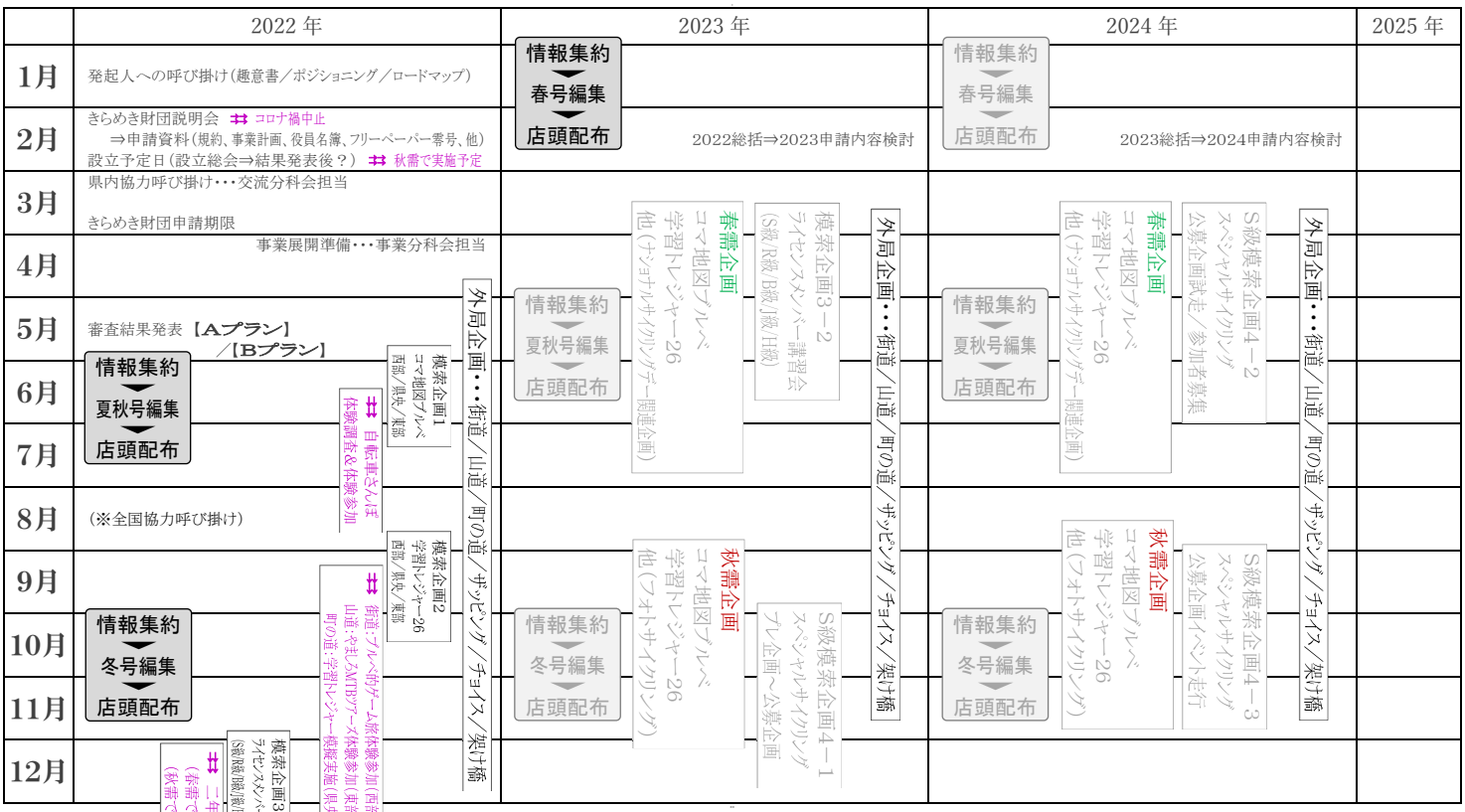
今回の話し「先行山口」の基点は「明治維新 150 周年後継企画」ですが、出発地は「第一次ブームの衰退／自転車市民権獲得」であり、目的地は「春需でソフトを売る／自転車多様性共通認識」に行き着くことと考えます。
但し、多くの人は、途中乗車、途中下車しかできず、度々のブームで、サイクリングの法的根拠の直前※注1で論議が止まるという現象が、『日本の実情』の底流に存在すると、1990 年代の MTB ブーム時に感じました。
その当時、諸先輩が「自転車文化」の未熟さを憂い、新参者は「乗る場所の提供」の延長にオリンピックの夢を語り、さらに行政とオーガナイザーは「屏風のトラ※注2」で道路利用の責任を棚上げし、その結果、ジャパンはグローバルに飲み込まれ、日本を遊ぶ「自転車」が失われてしまったと！！！
そのため「先行山口」では、子供の玩具から生活の足、旅の相棒、チャンピオンスポーツまでを網羅する、誰でも参画できるよう途中乗車途中下車を想定した最少目標達成のタスクフォースを目指しており、自転車のある多様な生活を考えたいと思います。
その意味で「サイクリングネットワーク再構築」を「自転車目線ネットワーク再構築」に変更した訳で、関係者の底流は繋がっていると確信しています！！！

※注1：ブームと法律・政治・背景には一定の関係が見受けられる。「第一次：もはや戦後ではない」「第二次：東京オリンピック・スポーツ推進法」「第三次前半：自転車道整備法」「後半：自転車基本法」「MTBブーム：リゾート法」「平成1：京都議定書」「平成2：自転車活用推進法」など。
その中、第三次の2つは、“交通戦争”と“放置自転車”と、ネガティブな要因から、自転車の可能性を縛る法律とも言える。

※注2：一休さんの有名なとんち話で、将軍が、「屏風絵のトラを退治してほしい」と訴えたところ、一休さんは「では捕まえますから、トラを屏風絵から出してください」と切り返し、将軍を感服させたというお話です。

三、工程表

ロードマップ案



「ロードマップ案」の【Aプラン】と【Bプラン】について

●設立・申請・Aプラン・Bプラン・二年跨ぎ／前回の申請で不採択の理由が、立ち上げに向けた設立準備委員会だったので、今回は正式立ち上げが必要条件となります。しかし十分条件ではないため、可の場合の【Aプラン】と、否の場合の【Bプラン】も想定したいと思います。

◎設立／発起人と設立総会と零プラン

⇒発起人：設立趣意書を作成し、１月中に１０～１５人へ依頼。

⇒設立総会：発起人の同意を全会一致か、書面で得る。３月中旬までに。総会は、審査結果の確定後に行う？ ⇔ 秋需企画に合わせて実施

⇒零プラン：添付書類用のフリーペーパー零号(3/20 発行予定)の情報収集と、西部、県央、東部での夏秋の模索企画の仕込みやロゴマーク協賛依頼。

◎申請／３月末締め切り～５月中旬交付式（※前回提出書類等／※掲載ページ：https://bikejoy2.web.fc2.com/ICD_SSK.htm#l）

⇒申請書類（※申請書、団体概要書、事業計画書、事業収支予算書）

⇒添付資料（※役員名簿、規約、予算書、模索企画資料、フリーペーパー零号）

◎Aプラン／予算あり

⇒総会／出来れば交付式後、５月中に開催。

⇒フリーペーパー／予算に合った体裁を考え、夏秋号、冬号、春号を作成。　※サイクルショップ＆サイクルステーションに配布。　※ロゴマーク広告への協賛依頼。

⇒模索企画１／西部・県央・東部のステーション＆ショップを巡るコマ地図ブルベ。

⇒模索企画２／西部・県央・東部の過去実施済みエリアでの学習トレジャー２６。

⇒模索企画３／ライセンスメンバー募集。

⇒その他／西部・県央・東部に分けた情報収集＆連携協力ネットワークの整備。

⇔ 自転車さんぽ・体験調査＆体験参加／廃校再生サミット山口企画と連携

⇔ 街道:ブルベ的ゲーム旅体験参加(西部)／廃校再生サミット山口企画と連携
山道:やましろMTBツアーズ体験参加(東部)／やましろ和道研究会企画と連携
町の道:学習トレジャー模擬実施(県央)／独自企画として実験実施

⇔ 二年跨ぎ企画・・・ライセンスメンバー募集＆育成企画
(春需で情報発信)・・・有料配布とタウン誌コラボの検討
(秋需で人材交流)・・・サイクリングクラブの法的根拠

◎Bプラン／予算ナシ

⇒総会／時機を見て年内に実施。

⇒フリーペーパー／Ａ３裏表版として、ロゴマーク協賛の範囲で秋号を作成。その様子を見て冬号、春号を検討。　※有料配布を検討し、協力施設に限定配布？

⇒模索企画１／協力ステーションや協力ショップの有無を見極めて検討。

⇒模索企画２／他団体と連携が可能なら実施を検討。※例：廃校再生サミット山口

⇒模索企画３／総会で詳細を検討した上で。※その他のネットワーク整備も同様。

◎二年跨ぎ／助成金や行政や学校は年度で動いているが、そこには微妙なズレがある。日常利用とスポーツ利用の架け橋となる「春需ソフト」をカバーするには、それを見越した年度跨ぎ企画が必要？「模索企画３」を組み立てる際、または、2022 総括で検討する。

案

（別紙１）

団 体 概 要 書

ふりがな	やまぐちさいくるぷろじぇくとけんきゅうかいとゅんびしつ	ふりがな	ひろしげ　きみあき
団体名	山口サイクリングプロジェクト研究会準備室	代表者職氏名	役職：発起人代表 弘重　公朗
団体所在地	〒742-0005 山口県柳井市天神 14-22 サイクリング・サロン・ヒロシゲ内		
設立年月日	２０２０年３月１１日	会員数	８　人
団体の設立趣旨や活動目的	『山口サイクリングプロジェクト研究会』は、最も身近な市民の足でありながらその法的根拠が曖昧な自転車の走行環境を、ハード・ソフト・インフラ・ハートの４要素で考える、ユーザー＋ショップ＋地域が三位一体となったスーパー先達の所説する"地域貢献型マルチサイクリングクラブ"です。 そして、各方面の人材交流と情報交換を行うハブ組織として、その走行環境の改善や整備を実現するために必要に応じて情報発信や提案型イベント等を行います。	活動分野 ※該当する活動分野に全て☑を付けてください。	☑ 保健、医療または福祉 ☑ 社会教育 ☑ まちづくり・中山間地域づくり ☑ 観光振興 ☑ 学術、文化、芸術、スポーツ ☑ 環境保全 ☑ 災害救援・防災 ☑ 地域安全 ☑ 人権擁護、平和の推進 ☑ 国際交流・国際協力 ☑ 男女共同参画 ☑ 子どもの健全育成 ☑ 情報化・科学技術 ☑ 経済活動、職業能力開発 ☑ その他
活動地域	山口県内（他団体との連携で全国展開も視野）		
3年間の主な活動 平成30年度（2018）	※有志による意見交換（サイクル県やまぐちの後継企画の模索）		
	団体の事業規模（事業費総額）		―　円
令和元年度（2019）	※有志による意見交換（有志ミーティング／岩国市への提言／サークルナイン／他） ※提案型イベントの実践（田布施お宝さがしライクリング／オレンジトロフィーシリーズ）		
	団体の事業規模（事業費総額見込）		―　円
令和２年度（2020）	※スポーツサイクリングファンクラブ寄号の作成 ☆スポーツサイクリングファンクラブ・夏号・秋号・冬号の編集配布 ☆提案型イベントの実践（THT26○150メモリアル／オレンジトロフィー／トライCツアーズ） ☆ホワイトミーティングの開催（第一回総会）		
	団体の事業規模（事業費総額見込）		５００，０００　円
令和２年度以降の活動計画	四季に合わせた情報発信フリーペーパーを通じて情報交換と現状分析を行いつつ、日常利用からスポーツ利用へ、ソロ活動からグループ活動へ、サイクリング活動のステージアップの必要性を訴える提案型イベントも仕掛ける。 ☆SCFanClub 春夏秋冬号の編集配布およびホワイトミーティングの周年実施 ☆岩国スクール&メンテナンス、THT26○150メモリアルトーナメント、オレンジトロフィーシリーズ、他 ☆Web展開（※スーパー先達の資金やソフトの整備化など、コンテンツの充実が確実になった場合）		

※活動実績、活動計画には、助成事業に申請しようとする事業以外のものも含め、**団体の中心的な活動**を記入してください。活動実績がない場合には空欄としてください。

（別紙２）

事 業 計 画 書

申請する事業の名称	山口サイクリングプロジェクト研究会設立に向けた 「情報発信フリーペーパーの編集発行」および「第一回総会の実施」
事業の実施期間	２０２０年　５月　２０日　～　２０２１年　３月　２０日
事業の概要	いつ・どこで・何を・どのような方法で行うかを記入してください

月	実施する内容・方法	場所・参加者等
５月～６月 ８月～９月 11月～12月	☆情報発信フリーペーパーの編集配布⇒市民への調査（県内情報集約版） スポーツサイクリングファンクラブ夏号⇒６月２０日配布（特集：街道系企画） 取材～編集～印刷～配布 スポーツサイクリングファンクラブ秋号⇒９月２０日配布（特集：山道系企画） 取材～編集～印刷～配布 スポーツサイクリングファンクラブ冬号⇒１２月２０日配布（特集：町の道系企画） 取材～編集～印刷～配布	連携ショップ／サイクルステーション／観光施設／他 ※県内の小中高大、全ての学校にも配布したい。
遅想は10月下旬／少なくとも２月中旬までに。	☆第一回総会の開催（ホワイトミーティング） 日程：２０２１年１月２３日（土）予定 場所：山口市近郊 議題：設立に向けた要件の確認、他 ※準備室で議事内容を事前整理	※候補：防府市サイクリングターミナル／美祢市秋吉台リフレッシュパーク／萩市萩明倫学舎／山口市県政資料館
	☆提案型イベントの実践 •THT26○150メモリアルトーナメント⇒時めぐり旅、城下町長府、田布施渡渡旅 10月、12月、3月開催予定（列挙条件／アイドリング強＋リアルCAL） •オレンジトロフィーシリーズ⇒十種ヶ峰MTBフェスティバル 11月下旬開催予定（列挙条件／オレンジトロフィー最優大会＋MD26th） •チョイス型トライCツアーズ⇒らかん渓流トライCジオツアーズ 春メニュー／夏メニュー／秋メニュー／冬メニュー （列挙条件／やまろMTBツアーズ＋らかん 長寿サイクルステーション周遊コース） ☆Web展開の検討 （県内情報集約版からコンテンツ充実版へ！）	

「自転車観光メンテナンス」と「先行山口」

廃校再生サミット山口　打ち合わせ資料

【P1】グローバルとジャパン
1)トレイルメンテナンスとツーリングコンペティション
2)サイクリングの法的根拠／自動車利用と歩行者利用
3)昭和の駅前サイクリングマップ看板の実情の打破

【P2】ゲーム旅と明治維新150周年
4)町と里と生活環境バランス
5)大人の社会見学／点線面

【P3】先行山口と転遊研
6)THT26◆自転車さんぽ
7)街道・山道・町の道・ザッピング
8)タスクフォース陸封降海

【資料】
先行山口／全県企画・限定地域企画・全国展開視野企画
時めぐり栽リターンズ2015／マップ・問題・リザルト
ワンダリングZ山代2021／チラシ・マップ・問題

いわくに研究会
2021/12/18

<0>

･･･先行山口･･･

「ゲーム旅」のベースは「THT26♦♦自転車さんぽ」です。MTB ラリーレイドでは課題山積みのため、日本の実情に合った自転車遊びとして、年齢性別事種不問、主催者の大小を選ばない、警察も追認する連帯みルールのものを、転遊研という緩～い集りの仲間と一緒に考えました。

今回はその応用提案になります。

別紙先行山口の、「❶Think Cycling」「❷Think MTB」「❸Closed & Open & Zapping」は、「街道」「山道」「町の道＋ザッピング」に対応しています。そして以下のような組み合わせを考えており、皆様と実現可能な内容を検討出来ればと思います。

街道	サイクルショップ＋サイクルステーション	スペシャルサイクリング
	サイクル県やまぐちで認定された"サイクルステーション"が２６箇所、サイクルプロショップが約２０箇所。インバウンド需要を狙った県の政策も、地元の理解や協力が無ければ「昭和の駅前サイクリングマップ」になってしまう。 CSCS コラボ企画として、セルフ自転車さんぽや広域コマ地図ラリーを提案。	
山道	いわ研プラス柚道再生計画やましろ	リバティフィールド
	MTB 企画が地域を救う！欧米での実例は枚挙にいとまはないが、失われた３０年同様、全く進展が無い。そこで構想２５年のリバティフィールドを、限定地域企画として、山代羅漢冠エリアで試みる。ツアーやラリーの定期開催を目指す。	
町の道	いわ研プラス日本自転車環境整備機構	１５０トーナメント
	明治１００年は盛り上がった。しかし明治維新１５０周年はどうだっただろう？黒船来航に端を発しするが、その終わりは諸説あり。さらに現在進行形との意見もある。予選はセルフ、ブロック大会は東西、そして決勝は萩市。	
ザッピング	いわ研プラス廃校再生サミット山口	ワンダリング Z 山口⇒防長三白
	自給自足の再現、と言えば、大袈裟化もしれないが、毛利藩は少なくともそれで国力を付けた。日本人の遺伝子には「国」と言えば「藩」が今でも残るが、それも薄れる。米作適地で森林資源や海幸山幸の豊かな郷土の、地理、歴史、産業を、自転車速度やファミリー単位の「ゲーム旅」で見直す「タスクフォース陸封降海」として提案。	

先行山口は、左図、毛利チャレンジ 2018 を組み立てる提案の中で考えたものですが、今回はそれを前面に組み立てます。

その中で、自転車関連以外の活動団体と知り合えたことは、可能性を拡げ、また、山口県を見渡したとき、県西部、県央、県東部で、その特色が異なり、そこに、廃校再生サミット山口、サイクルステーション、そしてサイクルショップが、バランス良く点在することも、企画のベースになると思います。

さらに、ドライブバージョンでは、買い物タスクや、グルメタスクも可能で、地元産品や取り扱い施設の PR にも繋がります。

<3>